

輝け！シン尾花沢中

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

ようこそ！琴ノ藤先輩

5月28日（水）に、尾花沢中学校の卒業生である琴ノ藤関が本校を訪問し、3年生の授業風景を参観したり、生徒と握手したりして、尾中생을激励してくれました。



質問 五月場所の結果を教えてください。

「6勝1敗と満足のいく結果でした。現在、西三段目28枚目ですが、七月（名古屋）場所では、幕下に復帰します。」

質問 尾花沢中学校時代の思い出を教えてください。

「やはり、部活動ですね。柔道部に所属しており、練習は非常にきつかったです。得意技は内股で、県大会で2位となり東北大会に出場しました。当時のコーチからは、どういう勝ち方であったか、なぜ負けたのか、といった内容重視の教えを受けました。この教えが、相撲にも生きています。他には、友達とふざけ合って楽しかったことが思い出に残っています。」



質問 いつごろ、相撲の道に進むことを決めたのですか。

「関取になるのは幼いころからの夢で、卒園式でも将来の夢として公言していました。正式に決めたのは、中学生の時です。姉が、佐渡ヶ嶽親方に手紙を送ってくれたことがきっかけとなり、正式に入門しました。」

質問 尾中생に期待することを教えてください。

「将来、どんなことをしたいか、夢を決めておくとう良いと思います。自分も、関取になるという夢を早くから公言することで、夢をかなえることができました。現在、夢が決まっていなくとも、これからの中学校生活の中で、いろいろなものに触れたり、いろいろなことを体験したりして探していくとよいです。応援してくれる人は必ずいます。自分の夢を持ちましょう。」



本市では「夢・志教育」を推進しています。このことを受け、本校でも、校訓の「活力」に関して「夢や志をもち、他人の役に立つことに喜びを感じる生徒」を掲げています。

厳しい練習や稽古に耐えて、夢をつかみとった先輩の言葉はとても重みがあり、生徒の皆さんにとってはたいへん参考になるものであったと思います。

琴ノ藤関の今後の健闘を大いに期待します。